

2021年9月8日

札幌市と社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みである ソーシャルインパクトボンドに関する覚書を締結

株式会社ドリームインキュベータ（代表取締役社長 COO 三宅 孝之、以下 DI）、および、北海道札幌市（市長 秋元 克広）は、社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みであるソーシャルインパクトボンドの活用に向けた調査・研究に関する覚書を締結することになりましたので、お知らせいたします。



ソーシャルインパクトボンド（以下、「SIB」）とは、行政が民間資金を活用して行う成果連動型の事業で、社会課題を解決する新たな官民連携の手法として注目されています。

近年、少子高齢化の急速な進行や様々な社会環境の変化に伴い、多くの社会課題が複雑化・深刻化しており、行政の財政負担は増加傾向にあります。そうした中で、海外では英国を中心に、行政コストの削減と社会課題の解決を両立する SIB の活用が進んでおり、日本でも医療・健康分野での導入が進んでいます。

DI は、様々な社会課題を戦略・技術・政策の力を有機的に統合して解決する産業プロデュースを推進しており、これまでに関連省庁/自治体や複数の民間企業等と連携して、先進的なプロジェクトを実施してきました。近年、SIB を活用して、サステナブルに社会課題を解決する仕組みの構築を目指しています。

このたび、DI 及び札幌市は、介護予防、施設・インフラの維持修繕、環境・エネルギーなど、社会課題の大きい領域を中心に SIB の活用に向けた共同調査・研究を行います。その中で、DI と札幌市の両者が持つ知見・ネットワークを共用・活用しながら、札幌市の抱える社会課題を解決し、より大きなインパクトを創出する取り組みにしていこうと目指します。

■ 株式会社ドリームインキュベータについて (<https://www.dreamincubator.co.jp/>)

戦略コンサルティングスキルという、ビジネスにおける最も普遍的で有益な根源的スキルと、インキュベーションで培われる“リアル”かつ“当事者”的な経営力を融合することにより、そのスキルを顧客企業へのサービス展開だけでなく、社会のあり方を変え、日本経済を元気にする“ビジネスプロデュース”に取り組んでいます。

■ 札幌市について (<https://www.city.sapporo.jp/>)

北海道・石狩平野の南西部に位置する札幌市は、明治 2 年（1869 年）の開拓使設置以来、北海道の中心都市として発展し、現在は約 197 万人が暮らす全国 5 番目の大都市となっています。「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」を目指すべき都市像に掲げ、まちづくりに取り組んでいます。

【本リリースに関する問合せ先】

株式会社ドリームインキュベータ ビジネスプロデュース部門 産業プロデュースプラクティス（吉田・大原）

電話：03-5532-3200 / Email：info@dreamincubator.co.jp